

[主催] 同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)

[共催] 同志社大学 神学部・神学研究科

CISMOR 第1プロジェクト

公開講演会

# 現代中国におけるキリスト教

## — 無神論社会を生きるクリスチャンたち

【講師】

薛 恩峰

(日本クリスチャンアカデミー・関東活動センター所長)

2011年8月27日(土) 13:00～15:00

同志社大学 今出川キャンパス

神学館3階 礼拝堂

○ 入場無料・事前申込不要

○ 問い合わせ先

同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)

TEL. 075-251-3972

E-mail: [info@cismor.jp](mailto:info@cismor.jp)

HP: <http://www.cismor.jp/>

## 【プログラム】

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1) 開会挨拶、講演者紹介 | 13 : 00－13 : 05 |
| 2) 講 演        | 13 : 05－14 : 30 |
| 3) 質 疑 応 答    | 14 : 30－15 : 00 |

講 師 : 薛 恩 峰

日本クリスチャンアカデミー・関東活動センター所長

司 会 : 小原 克博

同志社大学教授、一神教学際研究センター長

---

## 【講師紹介】

### 薛恩峰 (シュエ・エンフウン)

日本クリスチャンアカデミー・関東活動センター所長



中国の牧師の家に生まれる。独学で日本語を習得。同志社大学大学院神学研究科博士前期課程修了。四谷新生教会牧師・四谷新生幼稚園園長、富坂キリスト教センター主事を経て、現在、東京府中教会牧師、日本クリスチャンアカデミー関東活動センター所長。日本基督教団初の中国大陸出身の牧師。

薛氏が監修した『原典現代中国キリスト教資料集』（新教出版社）は、現代中国のキリストの現状と政教関係を知る貴重な資料。

## 中国プロテスタント教会 60年の概要 (1949年～2009年)

### 教 勢

1. 1949年までのプロテスタント信者数は、約70万人と言われる。中華人民共和国建国後、憲法は「公民は、宗教信仰の自由を有する」と規定しているが、文化大革命(1966～1976)により、宗教を信じる人々が迫害されて、信教の自由が奪われ、キリスト教会のみならず、すべての宗教施設が閉鎖された。
2. 2009年末の発表(CCC)によると、信徒数は2,000万人を超え、1979年以来、56,000の教会が再開され、うち85%が新築で、集会所(常任牧師のいない伝道所)は30,000ヶ所を越える。都市部の教会では礼拝出席者があまりに多いため、2～3回に分けて礼拝が行われることが多い。
3. 聖書の印刷発行部数は、累計5,177万冊。中国基督教協会編『讚美歌(新編)』に収録された曲の4分の1は中国信徒による作品で、讚美歌の中国化が進められている。

### 特 徴

#### 1. 「三自愛国運動」

現代中国キリスト教史を貫く主題で、社会主義中国を生きる中国キリスト者の愛国行動。「三自」とは、三つの自立「自治・自養・自伝」を指す。中国国内の教会運営および宣教活動は、中国教会の主権と職責において行い、外国人は中国において、いかなる性質の伝道活動も勝手に行ってはならないとされる。

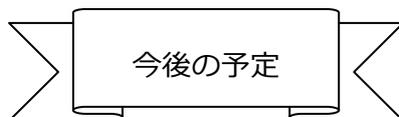
#### 2. 「ポスト宗派時代」

プロテスタント教会は、「中国基督教三自愛国運動委員会(National Committee of Three-Self Patriotic Movement of the Protestant Churches in China, 1954年成立)」「中国基督教協会」(China Christian Council, 1980年成立)」(この二つ組織を「两会」と略称)によって運営され、すなわち教派が存在しない。

これに参加しない一部の信者が存在し、「家の教会」(未登録教会)として信仰を守っている。

### 課 題

1. 神学教育の強化と聖職者の育成:ヘブライ語、ギリシャ語及び神学各分野の教師が不足している。全国に20の神学校があり、1980年以来、10,000人の卒業生を送り出している。50,000人の牧師・長老・伝道師が教会を指導しているが、2,000万人に及ぶ信徒に対し、深刻な牧師不足が依然続いている。これを補うのは、19万人ものボランティア伝道者(中国語:義工。一定の神学教育を受けた後、無報酬で伝道活動に従事する方)の存在である。
2. 社会主義に適応する神学思想の構築と三自愛国運動の深化:現代中国社会の抱える諸問題に対して、キリスト教会としての寄与のあり方が模索されている。近年、福祉事業、慈善事業、災害救援へのキリスト教の取り組みが目立ち、注目を浴びている。
3. 「中国教会」の確立:国外の諸団体による西洋化・分断化を避け、「愛国愛教」の道に沿って三自運動を弱体化させることなく、中国の教会として成長する。
4. 教会制度の構築および文書事業の強化:教会規約の制定、聖書の改訳、史料の編集、海外神学書の翻訳などが求められている。



主催：同志社大学一神教学際研究センター(CISMOR)  
共催：同志社大学神学部・神学研究科

## 英国における治安強化とイスラーム

### *Securitization and Islam in Britain*

- 【講師】 ムスタファ・カマル・パシヤ(英国アバディーン大学教授・国際関係学科長)  
【日時】 2011年9月16日(金) 14:00-16:00  
【会場】 同志社大学今出川キャンパス 講武館1階 KB104教室

英語講演・同時通訳あり／入場無料・事前申込不要

## 中国における宗教 —— 一神教に焦点を当てて

### *Religion in China: Focusing on the Monotheistic Religions*

- 【講師】 徐 新(中国・南京大学教授／ユダヤ学研究所所長)  
王 再興(中国・襄樊学院講師／CISMOR 共同研究員)  
敏 俊卿(中国回族学会副秘書長)  
【日時】 2011年9月24日(土) 13:00-15:15  
【会場】 同志社大学新町キャンパス 尋真館4階 Z40教室

英語講演・同時通訳あり／入場無料・事前申込不要

